

■ 株主メモ

| | |
|------------|--|
| 事業年度 | 1月1日から12月31日まで |
| 定時株主総会 | 毎年3月中 |
| 配当金受領株主確定日 | 期末配当金 12月31日 中間配当金 6月30日 ※中間配当の実施を取締役会で決議した場合 |
| 株主名簿管理人 | 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 |
| 郵便物送付先 | 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 |
| 電話照会先 | 0120-782-031(フリーダイヤル) |
| 単元株式数 | 100株 |
| お知らせ | <ul style="list-style-type: none">● 住所変更、単元未満株式の買取等のお申し出先について 株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座を開設された株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。● 未払配当金の支払いについて 株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。● 「配当金計算書」について 配当金お支払いの際にご送付しております「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。確定申告をされる株主様は大切に保管ください。 ただし、株式数比例配分方式をご選択いただいている株主様につきましては、源泉徴収税額の計算は証券会社等にて行われます。確定申告を行う際の添付資料につきましては、お取引の証券会社等にご確認をお願いします。 |



株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼を申し上げます。2016年度は好調な需要に支えられ、物量ベースでは前期を上回る販売実績をあげることが出来ましたが、急速に円高が進行したことによる押し下げ要因があり、売上高は前期並みの水準にとどまりました。利益面でも円高による為替差損を計上したことなどにより減益という結果になりました。

今後も海外における政情不安、為替相場の急変動など不透明な状況が続くものと予想されます。その様な環境の中、当社の研究開発の将来を担うと共に、世界中のお客様に感動を与えるショールーム機能を有した「新本社R&Dセンター」が2017年4月に竣工します。また、12月には、生産キャパシティの拡大と生産性向上を実現させる新工場「A1工場」が竣工する予定です。これらの投資により、当社の開発・販売・生産活動の質・量・スピードは飛躍的に向上するものと確信しております。

今後ともお客様に感動を与える革新的な製品開発、高品質を支える製造技術と生産能力の向上、お客様から信頼される販売ネットワークとアフターサービスの充実を図り、中長期的な成長を目指してまいります。株主の皆様には、より一層ご理解とご支援を賜ります様お願い申し上げます。

代表取締役社長
中西 英一




2016年度の業績について

当期は受注、出荷とも堅調に推移し、物量ベースでは前期実績を上回りましたが、円高が進行したことによりその効果が相殺され、売上高はほぼ前期並みにとどまりました。また、利益面では費用の増加や、為替差損を計上したことなどにより減益となりました。

[売上高]

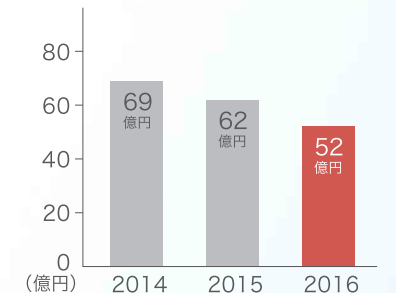
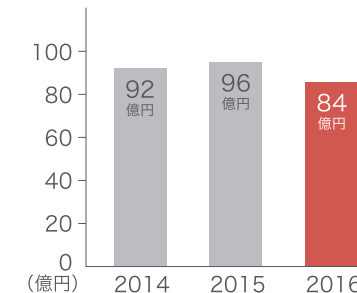
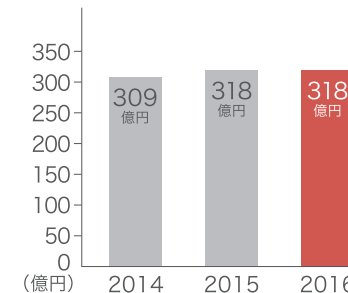
国内、欧州、北米、アジア、その他のいずれの地域も現地における販売は堅調に推移しましたが、ユーロ、USドル、中華人民元などの主要通貨に対して円高が進行したことによる売上高の減少要因があり、前期比0.1%減の318億円となりました。

[営業利益]

売上総利益の減少に加えて、積極的な営業展開に伴い販売費及び一般管理費が増加したことから、営業利益は前期比11.9%減の84億円となりました。

[親会社株主に帰属する純利益]

前期末と比較して円高が進行したことにより、外貨建て資産の評価減を中心とした為替差損8億円を営業外費用に計上した結果、親会社株主に帰属する純利益は14.6%減の52億円となりました。



歯科製品関連事業の概況について

主力のハンドピース、インプラント及び予防歯科関連製品の拡販と、新製品の発売、世界的なブランディング、アフターサービスの強化を推し進めた結果、需要は堅調に推移しました。

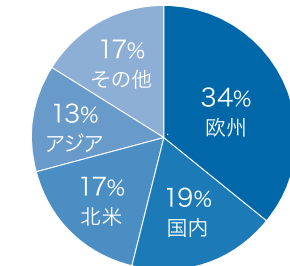
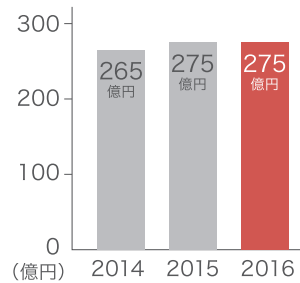
[欧州] ドイツ、フランス、イギリス、スペインのいずれの現地法人も好調に推移し、現地通貨ベースでは増収を維持しましたが、OEM製品の売上減と対ユーロで急速に円高が進行した影響により前期比6.6%の減収となりました。

[国内] 代理店向け自社ブランド製品は、前期末の出荷増の影響を受けて上半期はやや落ち込みがみられたものの、新発売の訪問歯科診療ユニット「ビバエース」が好評であったことに加え、OEM向け製品も堅調に推移したことから、通期では前期比2.9%の増収となりました。

[北米] 対USドルで円高が進行したことによる売上高の押し下げ要因があったものの、現地営業体制の再構築、展示会における大規模ブース展開など、積極的な営業活動を展開したことにより販売は好調に推移し、前期比2.9%の増収となりました。

[アジア] ディーラー網の拡大が順調に進んだ韓国が増収となり、中国、東南アジアにおける現地販売も堅調に推移しましたが、対中華人民元で円高となった影響などにより前期比2.8%の減収となりました。

[その他] インプラントモーターなどが好調な南米が順調に売上を伸ばした事に加え、ルーブル安の影響により前期、前々期と低迷したロシアに復調の兆しが見えてきたことなどもあり、前期比10.2%の増収となりました。



歯科製品関連事業
2016年
地域別売上高比率

工業製品関連事業の概況について

2015年に立ち上げた中部営業所による積極的な営業活動などにより、自動車関連メーカーを中心としたお客様による引き合いは総じて高まり、国内における受注は好調に推移しました。

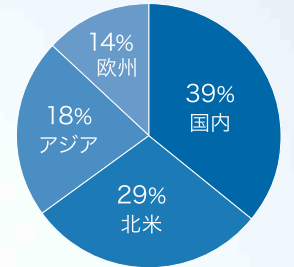
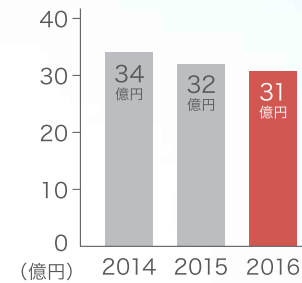
一方、アジアでは減収となったことに加え、円高による売上高の減少要因もあり、2016年度の工業製品関連事業は1.4%の減収となりました。

超精密加工を得意とする当社の高速スピンドルの潜在需要は非常に高いことから、引き続き積極的に提案営業を押し進めるとともに、他の追随を許さない開発体制の強化、生産能力の増強に努め、オンリーワンスピンドルメーカーとして、更なる市場の拡大に努めてまいります。

2017年度の業績予想について

2017年度は、主に対ユーロで円高を想定していることによる売上高の押し下げ要因があるものの、好調な製品需要を背景として、前期比4.4%の増収を見込んでおります。

営業利益につきましては、広告宣伝費、人件費、設備投資による減価償却費等の費用増に加え、円高による押し下げ要因もあり、前期比0.5%増にとどまる見通しです。また、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、2016年度に計上していた為差損の反動により15.2%の増収を見込んでおります。なお、2017年度の想定為替レートは1USドル=110円、1ユーロ=115円を前提としております。



工業製品関連事業
2016年
地域別売上高比率

2017年度 業績予想

| 売上高 | 営業利益 | 親会社株主に 帰属する当期純利益 |
|--------------|--------------|---------------------|
| 332億円 | 85億円 | 61億円 |
| 前期比 4.4%増 | 前期比 0.5%増 | 前期比 15.2%増 |

想定為替レート

| 1USドル | 1ユーロ |
|-------|------|
| 110円 | 115円 |

ドバイ駐在員事務所を法人化へ

2000年にアラブ首長国連邦(UAE)のドバイに駐在員事務所を開設して以来、積極的に営業活動を展開し、中東及びアフリカにおける販売網の構築、展示会出展による認知度の向上、そして、各国の厚生省高官、大学の学長、学部長クラスとの人間関係構築を実現して参りました。また、代理店や大学への修理トレーニングを積極的に行うことにより、現地でアフターサービス対応ができる体制整備を進めて参りました。

それらの活動により、中近東でのNSKブランド力は大きく向上し、同時に各国での売上高とシェアが大幅に伸長しました。

これまで築き上げてきたブランド力を背景に、今後も更なる成長が見込まれるなか、よりきめ細かい営業・サービス体制を構築すると共に、独立採算性の向上を図るため、2017年1月、駐在員事務所を格上げし、現地法人NSK Middle East FZCOを設立しました。今回の現地法人設立を機に、より地域に密着したマーケティング活動や情報発信の機能を充実させると共に、製品の迅速なデリバリーと、修理を含めたアフターサービスの機能を担う重要な拠点として体制を強化し、中東及びアフリカ地域における更なる顧客満足度の向上に努めてまいります。

2017年2月には中近東・アフリカ最大のデンタルショーがドバイで開催され、当社が出展したブースは連日多くの来場者で賑わいました。当社製品に対する関心の高さを伺うことができ、同時に、中近東におけるNSKブランドの強さが確認されました。



現地法人「NSK Middle East FZCO」オフィスが入居するドバイエアポートフリーゾーン



AEEDC 出展ブース

オーストラリア、ブラジル現地法人オフィスを移転拡張

■ オーストラリア現地法人

2007年に現地法人を設立した後、順調に業容を拡大し、特に大学や公共医療機関向けでは高いシェアを有するに至りました。近年は一般歯科医院向けの販売も伸びており、今後の更なるブランド力向上とシェア拡大を図るため、2016年10月に、以前の事務・倉庫スペースの3倍を超えるオフィスへ移転しました。歯科医師の方々やディーラの営業マンが製品を直に試することができるショールームを拡張し、販売促進に大きく寄与するものと期待しています。セミナーができるスペースと設備も新設し、当社製品を使用した予防歯科やインプラント治療のセミナーを開催できるようになりました。また、アフターサービス部門のキャパ拡充を図り、更なる顧客満足向上を図ります。新しいオフィスをベースにして、今後の更なるシェア、売上高の拡大を努めてまいります。



ショールーム



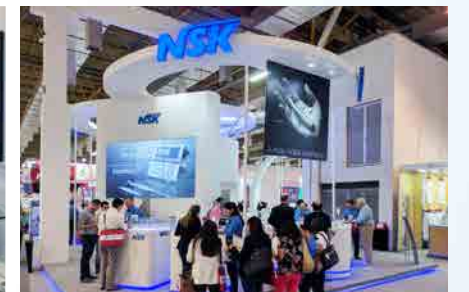
新オフィス外観

■ ブラジル現地法人

南米最大の経済規模を誇るブラジルにおいて、機動的な営業・マーケティング活動を展開するために2013年に現地法人を設立し、代理店網の確立とブランド認知向上を進めて参りました。その結果、順調に売上高が拡大してきました。更なるシェア、売上高の拡大のために第二ステップへ移行する時期にあると判断し、2016年9月に物流倉庫、ショールーム、セミナー開催、アフターサービス機能を充実させた新オフィスに移転しました。オーストラリアの拠点同様に、この新しい拠点をベースにして、更なる事業拡大を進めて参ります。



ショールーム



CIOSP 出展ブース

世界各国の展示会において積極的なマーケティング活動を推進

歯科医師の先生方及び流通関係者に向けたブランディングと、当社製品の技術力をアピールするために、世界各国において開催される展示会に積極的に出展しております。2016年度も大小合わせて多くの展示会に出展し、多くの来場者の方々に“NSK WORLD”を体感して頂き、ブランドイメージアップとファン作りを推進しております。

■ 北米

2016年11月にニューヨークで開催された北米最大規模の展示会であるGreater New Yorkデンタルショーに大規模ブースを出展し、世界統一のブランディング戦略に基づくマーケティング活動を展開しました。北米は2011年末に自社ブランド製品の販売を本格化させ、営業基盤の整備を進めてまいりましたが、これまで以上に市場における認知度向上とシェア拡大を図るため、2015年末に営業体制を再構築すると共にマーケティング活動を活発化させた結果、今回の展示会でも多くの反響を頂くなど、認知度は着実に向上いたしました。今後も更なる成長を目指し、積極的な営業活動を推進してまいります。



Greater New York 出展ブース

■ フランス

フランス最大の展示会であるADFが2016年11月にパリで開催され、当社ブースに多くの歯科医師の先生方やディーラーの営業マンが来場され、熱心にスタッフの説明を受けると共に製品操作を体験するなど、フランスにおけるNSKブランドの定着が確実に進んでいることが確認されました。



ADF 出展ブース

■ スペイン

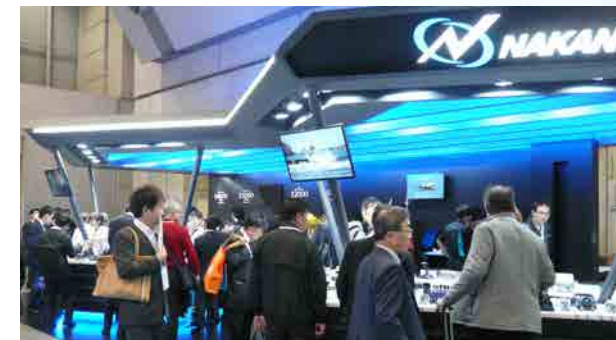
2年に一度開催されるスペイン最大の展示会であるExpodentalが2016年3月にマドリードで開催されました。会場内で展開した製品のデモ、施術プレゼンテーションには常に人だかりができており、大盛況となりました。展示会期間中の売上高も過去最高を記録し成功裏に終わりました。



Expodental 出展ブース

日本国際工作機械見本市 JIMTOF2016に出展

2016年11月に東京ビックサイトで第28回日本国際工作機械見本市(JIMTOF)が開催されました。JIMTOFは、工作機械及びその関連機器業界における国内外のトップメーカーが集い、新製品や新技術を発信する日本最大の見本市です。今年は世界77カ国から1万人を超える海外からの来場者があり、総来場者数は過去最大の14万人となる盛り上がりを見せました。当社は日本を代表するトップコスプレイヤー「まさじ」とのスペシャルコラボを展開し、当社ブースにおいては、1万人を超えるお客様が当社ブースに来場され、数多くの引き合いを頂きました。当社の工業製品関連事業の製品は、極めて微細な加工に用いられる機器であり、スマートフォン、ハードディスク、自動車部品などを加工する工作機械に搭載されるスピンドルと共に、職人の方々が様々な製品を研削・研磨するための精密グラインダーも非常に高い評価を得ております。精密グラインダーはフィギュアやコスプレなどの制作にも用いられており、日本を代表するトップコスプレイヤー「まさじ」とのスペシャルコラボを展開し、幅広い来場者層に当社製品の活用事例を紹介することが出来ました。今後も引き続きお客様に感動を与える製品開発を推進すると共に、当社ブランドの認知度向上に努めてまいります。



JIMTOF2016 出展ブース

日経BP Marketing Awards クリエーティブ部門 優秀賞受賞対象「JIMTOFキャンペーン広告」

JIMTOF開催前から展開したスペシャルコラボのキャンペーン広告と、JIMTOFに来場されるお客様目線で企画した一連の活動が高く評価され、日経BP Marketing Awardsにおいて優秀賞を受賞しました。当社の活動が広く認められ、2年連続受賞の栄誉に輝きました。



JIMTOF2016 出展ブース

配当について

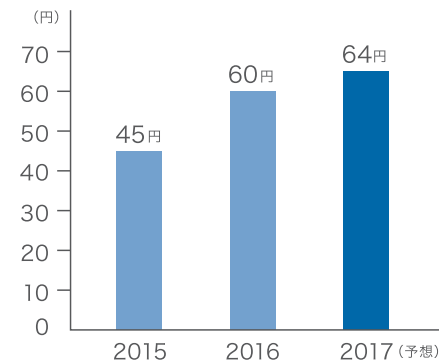
■ 2016年度(実績)

当社は、株主に対する利益還元を経営の重要課題のひとつと認識し、業績動向及び事業展開に備えた内部留保等を勘案したうえで、安定的に配当を継続することを基本方針としております。2016年度の期末配当につきましては、期初の計画通り1株につき30円とさせていただきます。既にお支払しております中間配当30円と合わせて、年間配当は60円となり、2015年度の年間配当と比べ15円の増配となりました。

■ 2017年度(予想)

2017年度につきましても連結配当性向30%の基本方針を維持し、中間配当、期末配当ともに32円を予想しております。中間配当と期末配当を合わせた年間配当は、4円の増配となる64円を予想しております。

■ 1株当たり年間配当金の推移



コーポレート・ガバナンスの強化：2017年3月30日から社外取締役2名体制へ

コーポレート・ガバナンス体制の強化を推進するため、2017年3月30日からは社外取締役を1名増員し、計2名といたしました。社外監査役3名を合わせた独立役員は5名となり、取締役会のメンバー9名に占める独立役員は過半数を超える体制となりました。今後も引き続き、経営の透明性・健全性・効率性の更なる向上を図ることでコーポレート・ガバナンスの一層の強化を実現し、企業価値の向上を図ってまいります。

社会貢献活動：一般財団法人NSKナカニシ財団を設立

当社は歯科製造メーカーとして長年歯科医療の発展に尽くして参りましたが、社会貢献活動の観点から将来の歯科医療を担う優秀な人材を確保する為には、学生が情熱を持って学業に取り組む環境を提供することが不可欠と考え、2016年10月12日に「一般財団法人NSKナカニシ財団」を設立いたしました。

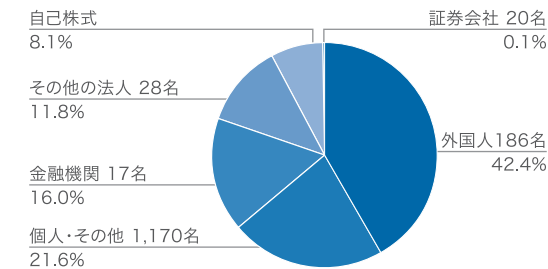
財団概要

| | |
|------|-----------------|
| 名称 | 一般財団法人NSKナカニシ財団 |
| 所在地 | 栃木県鹿沼市下日向700番地 |
| 設立者 | 株式会社ナカニシ |
| 設立日 | 2016年10月12日 |
| 代表理事 | 中西英一 |
| 事業内容 | 奨学金支給事業 |

株式の状況 (2016年12月31日現在)

- 発行可能株式総数 …………… 125,000,000株
- 発行済株式の総数 …………… 31,419,800株
- 株主数 …………… 1,422名

■ 株式分布状況



■ 大株主(上位10名)

| 株主名 | 持株数 | 持株比率 |
|-------------------------------|---------|------|
| ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー | 1,741千株 | 6.0% |
| ナカニシE&N株式会社 | 1,510千株 | 5.2% |
| 中西崇介 | 1,430千株 | 5.0% |
| 中西千代 | 1,430千株 | 5.0% |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9) | 1,292千株 | 4.5% |
| ザ チェース マンハッタン バンク 385036 | 1,125千株 | 3.9% |
| 株式会社オフィスナカニシ | 1,040千株 | 3.6% |
| 中西英一 | 938千株 | 3.2% |
| 中西賢介 | 935千株 | 3.2% |
| ジェーピー モルガン チェース バンク 385632 | 890千株 | 3.1% |

(注) 1. 当社は、自己株式を2,544千株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
2. 持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

会社概要 (2016年12月31日現在)

| | |
|------|--|
| 社名 | 株式会社 ナカニシ |
| 設立 | 1951年2月 |
| 代表者 | 代表取締役社長 中西英一 |
| 資本金 | 867,948,542円 |
| 従業員数 | 954名(連結) |
| 本業 | 栃木県鹿沼市下日向700番地 |
| 事業所 | 本社・工場 東京事務所 大阪事務所 ドバイ事務所(UAE) モスクワ事務所(ロシア) |

主要関係会社

| | |
|---------------------------------------|-----------------------------|
| NSK-America Corp.(アメリカ) | |
| NSK Europe GmbH(ドイツ) | |
| NSK France S.A.S.(フランス) | |
| NSK United Kingdom Ltd.(イギリス) | |
| NSK Nakanishi Dental Spain S.A.(スペイン) | |
| NSK Oceania Pty. Ltd.(オーストラリア) | |
| NSK Shanghai Co.,Ltd.(中国) | |
| Dental X S.p.A(イタリア) | |
| 主要取引銀行 | 足利銀行、みずほ銀行、三菱東京UFJ銀行、三井住友銀行 |

| 役員 | 代表取締役社長 | 中西英一 |
|----------------|----------|-------|
| (2017年3月30日現在) | 代表取締役副社長 | 中西賢介 |
| | 専務取締役 | 尾上俊治 |
| | 常務取締役 | 松岡薫 |
| | 取締役 | 野長瀬裕二 |
| | 取締役 | 鈴木布佐人 |
| | 常勤監査役 | 豊玉英樹 |
| | 監査役 | 染宮守 |
| | 監査役 | 澤田雄二 |

(注) 1. 取締役 野長瀬裕二及び鈴木布佐人は社外取締役です。
2. 監査役 豊玉英樹、染宮守、澤田雄二は社外監査役です。